

## 資料

## 擬古物語および中世の日記・紀行文の形容詞の語構成

村田 葉穂子\*<sup>1</sup> 前川 武\*<sup>2</sup>

**Formation of Adjectives in  
Pseudo-classical Narratives :  
a Diary and a Travelogue from the Middle Ages**

Nahoko Murata\*<sup>1</sup> Takeshi Maekawa\*<sup>2</sup>

## キーワード

形容詞 語構成 語構造 擬古物語 日記・紀行文 結合タイプ 造語形式

## I はじめに

これまで、上代資料・八代集・中古散文作品から採取された形容詞について、それぞれの形容詞がどの資料でどのくらい使用されているかを対照語彙表の形にまとめ、その一方で、各形容詞について語構成を分析し、その結果を拙著『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』<sup>(註1)</sup>において前稿①「古代語形容詞の語構成」として公表した。

その後、調査対象を軍記物語・今昔物語集から狂言・キリシタン資料、擬古物語、中世の日記・紀行文へと拡大し、これらから採取された形容詞の対照語彙表<sup>(註2)</sup>の公表を続けてきた。

これと並行して軍記物語・今昔物語集の形容詞の語構成についての分析結果をまとめ、「古代語形容詞の語構成」を増補する形とし、同時に、「古代語形容詞の語構成」公表後に気づいた見落としや誤りを修正して、上代から中世に至る資料から採取した形容詞の語構成の分析結果を前稿②「改訂・増補 古代語形容詞の語構成－上代～中世編－」<sup>(註3)</sup>として改めて公表し直した。さらに、狂言・キリシタン資料の語構成についての分析結果を前稿③「狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成」<sup>(註4)</sup>として公表した。

本稿では、前稿③に続く資料として、擬古物語および中世の日記・紀行文の形容詞の語構成の分析結果を一覧表の形にして報告する。

分析の観点は、前稿①に示したが、主な観点は、[a] 語がどのような部分要素（語構成要素）に分けて捉えられるかという点（結合タイプ）と [b] 語がどのような造語成分から組み立てられているかという点（造語形式）である。なお、分析に関する詳細について

\*むらた なほこ：大阪国際大学国際教養学部教授（2015.12.4 受理）

\*まえかわ たけし：大阪国際大学短期大学部教授

は、前稿①に拠りたい。

## Ⅱ 凡例

前稿③に従うが、改めて記載する。

### [1] 見出し語の配列

歴史的仮名遣いにより五十音順に配列する。

### [2] 見出し語形の統一

意味の違いに関係しない読み方・発音の違いは同一語とみなし合併して採る。同一語・別語の認定は『古語大事典』〔小学館〕・『日本国語大辞典』〔小学館〕に拠る。

例…ねむたし→ねぶたし、あひなし→あいなし等。

この他、今昔物語集（日本古典文学大系）には、「～+方ナシ」に対して、例えば、「可譬（タトフベ）キ方（ハウ）無シ」「可譬（タトフベ）キ方（カタ）無シ」のように、「方」の漢字に「ハウ」「カタ」の二通りよみが付されている。しかし、両者の使い分けに一定のルールが認められず、「ハウ」とよむ必然的理由が見出せない。また、これまでに取り上げた資料の中に「～+ハウナシ」という形容詞は一例も見られない。以上のようなことを鑑み、大系で「～+ハウナシ」とよみがなが付されている形容詞は「～+カタナシ」に含めた。

### [3] 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い

助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語形、および接頭辞がついた語形は次のように扱った。

- (1) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が対象とした資料に存在する場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語と合併して採る。

例…いふかひもなし→いふかひなし、やるかたもなし→やるかたなし、なにかし→なだかし等。

例…いはむかたなし・いふべきかたなし→いふかたなし、とりまうしがたし→とりがたし、ゆるされがたし→ゆるしがたし等。

- (2) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が対象とした資料に存在しない場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形を仮の語形として設定し立てる。

例…うとましげもなし→うとましげなし、まじりもなし→まじりなし等。

例…かきつくさむかたなし→かきつくすかたなし、すべきかたなし・せむかたなし→するかたなし、えたりかしこし→えかしこし等。

- (3) 接頭辞の付いた語の扱い

例…おんころたがひなし→ころたがひなし、おんころづよし→ころづよし

以上のように、接頭辞を外した語形で採る。

[4] 複合語の扱い<sup>(註5)</sup>

名詞+形容詞（例…おくふかし・かひなし）や動詞連用形+形容詞（例…ありがたし・はべりにくし）等は切り離さず複合的な単位として認め、一語として扱う方針によって形容詞を選出した。これは、形容詞の造語法として複合語の産出が新語形成の一端を担っている事実を重視したことに拠る。

[5] 漢字

各形容詞の主な意味を表すために適宜振ったもの

[6] 活用

各見出し語がそれぞれ何活用の形容詞であることを示したもの

[7] 結合タイプと構成単位数

結合タイプとは、語がどのような部分要素（語構成要素）に分けて捉えられ、それぞれの要素がどのような階層的構造にあるかという語構造（語のつくり）を記述しようとするものである。

語構造（語のつくり）を記述するのに際して、まずはその前提となる語を構成する部分要素、すなわち語構成要素の認め方と分類を明らかにする必要がある、野村雅昭氏<sup>(註6)</sup>が語（単語）を構成する要素について次のように定義しているのが参考となる。

語基……語の意味的な中核となるもので、単独で、語を構成することもできる。

接辞……語基と結合して、形式的な意味をそえたり、語の品詞性（文法的意味）を決定したりする。単独では語を構成することはできない。

このように、語構成要素は【語基】と【接辞】に大別することができ、さらに【語基】は、その独立性の違いから、単独で語を組み立てることができる自立形式の要素と、単独で語を組み立てることができない結合形式の要素との二つに分けることができる。<sup>(註7)</sup>前者のような自立形式である【語基】は、有坂秀世氏<sup>(註8)</sup>のいわゆる「名詞・動詞の露出形」（単語）に対応するものであり、後者のような結合形式である【語基】は、有坂氏の「名詞・動詞の被覆形」、乃至は「形状言」<sup>(註9)</sup>と呼ばれるものに対応するものである。

また、【接辞】は、【語基】に対する位置によって【語基】の前に付く〈接頭辞〉と後ろに付く〈接尾辞〉の二つに分けられ、語基に対する位置によって、〈接頭辞〉と〈接尾辞〉とが区別される。記述に際して、便宜的に、結合形式である【語基】を「ゴ」、自立形式である【語基】を「タ」、さらに、【接辞】は（その位置によって〈接頭辞〉と〈接尾辞〉とが区別されるので）ひとつにまとめて「セ」で表す。これに従えば、「な／し・さが／なし・ゆか／し」等の語は、（ゴ+セ）という二つの語構成要素から成り立っている2単位語ということになり、「をさ／な／し・おく／ゆか／し」などの語は、[タ+（ゴ+セ）]という三つの語構成要素から成り立っている3単位語、また、「こころ／をさ／

な／し」などの語は{タ + [タ + (ゴ + セ)]}、「み／すて／がた／し」などの語は [(タ + タ) + (ゴ + セ)] という四つの語構成要素から成る4単位語ということになる。

[8] 階層構造

階層構造とは、拙著で詳しく述べたように、成立した語形が形容詞として第一番目のものであるか、あるいは既存の形容詞に何らかの語構成要素が接合して構成された第二番目（この第二番目の形容詞にさらに別の要素が接合して構成された第三番目）のものであるかを分析したものであり、派生や複合によってどの程度自己増殖が進んでいるかを捉えようとした観点である。具体的に言うと、形容詞として成立した第一番目の語形である第一次形容詞として「なし・くるし」等があり、この第一次形容詞から構成された「をさ／なし・ころ／ぐるし」等は第二次形容詞ということになる。さらに、この第二次形容詞から構成された「ころ／をさ／なし・もの／ころ／ぐるし」等は第三次形容詞となり、対象とした資料から採取された形容詞にはこのような三段階のものが存在する。

[9] 造語形式

[7] で取り上げた「語のつくり」の問題とは別に、発生論的な観点から、語がどのような造語成分から組み立てられているかという語の生産方式、すなわち「語のくみたて」（造語）の問題がある。「語のくみたて」（造語）の方式を考えるに際して、最終結合次の前項要素（ $a$ ）と後項要素（ $\beta$ ）をそれぞれ一つの造語成分として捉え、それぞれの造語成分の品詞性を分類して、各形容詞の最終結合次の形式がいかなる成分同士の結びつきかを二項式 [ $a + \beta$ ] で表したものを《造語形式》と呼ぶ。

以下に、 $a$ に位置する造語成分と $\beta$ に位置する造語成分とを分類して示す。

【a】

接頭辞	結合形式の造語成分	接尾語基	自立形式の造語成分(単語)	重複形
カ	語基	(語基 + カ)	名詞	語基の重複
ケ	名詞被覆形	(語基 + キ)	動詞(連用形)	名詞被覆形の重複
コ	動詞被覆形	(語基 + ケ)	動詞(連体形)	形容詞(語幹)の重複
サ	形容詞(語幹)	(語基 + サ)	副詞	名詞の重複
タ	形容動詞(語幹)	(語基 + セ)		動詞(連用形)の重複
ヒ		(語基 + ネ)		副詞の重複
ヲ		(語基 + マ)		
ソラ		(語基 + メ)		
トコ		(語基 + ツカ)		
ナマ		(語基 + ツケ)		
モノ		(動詞被覆形 + カ)		
		(動詞被覆形 + ラ)		

(動詞被覆形+ヤケ)  
(形容詞(語幹)+ツケ)  
(動詞(連用形)+ゲ)  
(名詞+ゲ)

【β】

接尾辞	形容詞
シ	形容詞(無シ以外)
ジ	無シ <sup>(注10)</sup>
ケシ	
ナシ(甚)	
ハシ	
マシ	
ガハシ	
ガマシ	

※造語形式または結合タイプが不明な形容詞については一覧から除外した。<sup>(注11)</sup>

【10】十資料における出現状況

各見出し語がどの資料に使われているかを簡潔に示すべく、その見出し語が使われた資料に○を施した。

十資料とは、【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】【今昔物語集】【軍記物語】【擬古物語】【中世の日記・紀行文】【狂言】【キリシタン物】を指す。(表中では、下線部で示したもので略記した) なお、各資料に含まれる作品は次のとおりである。

【上代資料】

『時代別国語大辞典上代編』に立項されている形容詞のうち、東歌・防人歌に使われている東国語方言の語や複合形容詞中のみその存在が確認される語を除き、万葉集・古事記(仮名書き部分)・日本書紀(同)・風土記(同)・続日本紀宣命・祝詞に用例のあるものを上代形容詞として認めた。

【八代集】

『古今集』『後撰集』『拾遺集』『後拾遺集』『金葉集』『詞花集』『千載集』『新古今集』

【中古散文作品】

『竹取物語』『土佐日記』『伊勢物語』『平中物語』『大和物語』『多武峯少将物語』『篁物語』『宇津保物語』『蜻蛉日記』『落窪物語』『和泉式部日記』『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』『堤中納言物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』『更級日記』『狭衣物語』『大鏡』『讃岐典侍日記』『とりかへばや物語』

【訓点資料】

『興福寺本大慈恩寺三蔵法師伝古点』『神田本白氏文集卷第三・四』『高山寺本古往来』

【今昔物語集】

『今昔物語集』

【軍記物語】

『保元物語』『平治物語』『平家物語』

【擬古物語】

『松浦宮物語』『山路の露』『風に紅葉』『木幡のしぐれ』

【中世の日記・紀行文】

『海道記』『東関紀行』『うたゝね』『とはずがたり』『竹むきが記』

【狂言】

『天正狂言本』『虎明本狂言集』『虎清本狂言集』『狂言六義』『狂言記』

【キリシタン資料】

『天草本平家物語』『天草版伊曾保物語』『天草版金句集』『懺悔録』

【付記】

本稿は、日本学術振興会平成 25 - 27 年科学研究費補助金（基盤研究（C）、課題番号 25370533）による研究成果の一部である。

注 1 [2005・11 和泉書院]。元は、『大阪国際女子大学紀要』27-1 [2001・9]。拙著には、「古代語形容詞の語構成」（別表一）のほか、「八代集の形容詞対照語彙表」（別表二）「中古散文作品の形容詞対照語彙表」（別表二）、「訓点資料の形容詞の語構成」（参考資料）を載せている。

注 2 ①「軍記物語の形容詞対照語彙表」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-3 [2008・3]）、②「今昔物語集の形容詞対照語彙表—天竺・震旦部—」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』22-3 [2009・3]）、③「今昔物語集の形容詞対照語彙表—本朝仏法部—」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-1 [2009・10]）、④「今昔物語集の形容詞対照語彙表—本朝世俗部—」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]）、⑤「『形容詞対照語彙表』補遺」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]）、⑥「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表——上代～中世編——（前編）」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』24-3 [2011・3]）、⑦「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表——上代～中世編——（後編）」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-1 [2011・10]）、⑧「『時代別国語大辞典 室町時代編』の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-2 [2012・1]）、⑨「『邦訳 日葡辞書』の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』26-1 [2012・10]）、⑩「狂言の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』27-2 [2014・1]）、⑪「キリシタン資料の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』27-3 [2014・3]）⑫「擬古物語の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』29-1 [2015・10]）、⑬「中世の日記・紀行文の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』29-2 [2016・1]）

注 3 『帝塚山学院大学日本文学研究』41 [2010・2]

注 4 「狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』29-1 [2015・10]）

注 5 なお、「みまうし」「いはまほし」等、～まうし・～まほしの語は採らない。また、「あるべか

し」を一形容詞とする見方も存在するが、ひとまず措くことにする。

- 注6 野村雅昭氏「造語法」(『岩波講座日本語』9 [1977・6、岩波書店])
- 注7 ここで言う a 自立形式である【語基】および b 結合形式である【語基】は、阪倉篤義氏『語構成の研究』で言うところの「本来自立の用法を有する単語」および「これに準ずる言語単位」にほぼ相当する。さらには、a および b は、蜂矢真郷氏「語構成と形状言」(『語文』65 [1996・2]) および『国語重複語の語構成論的研究』[1998・4、塙書房] で言うところの、「独立的要素」および「準独立的要素」に当り、そして、【接辞】は「非独立的要素」に当る。
- 注8 『国語音韻史の研究』増補新版「国語にあらはれる一種の母音交替について」および「母音交替について」[1957・10、三省堂]
- 注9 川端善明氏『活用の研究』I [1978・3、大修館書店] 序説、同書II [1979・2] 第2部第1章～第4章
- 注10 「無シ」を特立した理由は、これを後項要素とするものが際立って多いこともさることながら、「無シ」が他の語のようにある特定の概念を示すものではないという点で、ひとまず他のク活用形容詞と区別している。
- 注11 従来からの分析で不明と判断されたものとしては、「あぶなし」(『保元物語』『平家物語』『虎明本狂言集』『狂言六義』『狂言記])がある(かっこ内は出現した作品を示す)。

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	筆記	日記	狂言	キリ
1	あいなし		ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}			○		○	○			
2	あうなし	奥無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}			○		○	○	○	○	
3	あかし	明	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○		○	○	○	○	○
4	あかし	赤	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	あかしがたし	明難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+(ゴ+セ)}			○						
6	あさし	浅	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	あさまし	浅	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	あし	悪	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	あたらし	新	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	あたらし	惜	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	あぢきなし	味気無	ク	第一次	{(語基+キ)+ナシ}	3	{(ゴ+セ)+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○
12	あつかはし		シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○						
13	あつし	厚・敦	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	あつし	暑・熱	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	あとなし	跡無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}			○						
16	あとほかなし	跡果無	ク	第三次	名詞+形容詞	4	{タ+{タ+(ゴ+セ)}}			○						
17	あはあし	淡淡	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	{(ゴ+ゴ)+セ}			○						
18	あはつけし	淡	ク	第一次	{(形容詞(語幹)+ツケ)+シ}	3	{(ゴ+セ)+セ}			○						
19	あはれふかし		ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+(ゴ+セ)}							○	○	
20	あひがたし	逢難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+(ゴ+セ)}			○	○	○	○	○	○	○
21	あへなし	敗無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}			○				○	○	
22	あまねし	遍・普	ク	第二次	{(語基+ネ)+シ}	3	{(ゴ+セ)+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	あやし	靈異・奇・怪	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	あやなし	文無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}			○						
25	あやふし	危	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	あらし	荒・疎	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	あらし	荒	シク	第一次	形容詞(語幹)+マン	2	{ゴ+セ}			○				○	○	○
28	ありがたし	有難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+(ゴ+セ)}			○				○	○	○
29	ありよし	有良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+(ゴ+セ)}			○				○	○	○
30	あわたたし	慌	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{(ゴ+ゴ)+セ}			○				○	○	○
31	あをし	愧	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	いかめし	嚴	シク	第一次	名詞+シ	3	{(ゴ+タ)+セ}			○						
33	いぎたなし	寢汚	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+(ゴ+セ)}			○				○	○	
34	いさぎよし	潔	ク	第二次	語基+形容詞	3	{ゴ+(ゴ+セ)}	○								
35	いそがし	忙	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○				○	○	○
36	いそがはし	忙	シク	第一次	動詞被覆形+ハシ	2	{ゴ+セ}			○				○	○	○
37	いたし	痛・甚	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	いたはし	勞	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	いたまし	痛	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○				○	○	○
40	いづくし	嚴	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○		○	○	○	○	○	○	○
41	いづくともなし		ク	第二次	副詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}							○	○	
42	いづくとなし		ク	第二次	副詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}							○	○	
43	いとげなし	幼	ク	第一次	{(語基+ケ)+ナシ}	3	{(ゴ+セ)+セ}			○	○	○	○	○	○	○
44	いとどし		シク	第一次	副詞+シ	2	{タ+セ}			○						
45	いとどし	嚴	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	いとどし	勞・愛	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	いとまなし	暇無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○	○	○	○	○	○	○
48	いはげなし	稚	ク	第一次	動詞(連用形)+ナシ	2	{タ+セ}			○				○	○	
49	いはれなし	謂無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}							○	○	
50	いふかぎりなし	言限無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○						
51	いふかたなし	言方無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○						
52	いふかひなし	言甲斐無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○						
53	いぶせし	辭	ク	第一次	{(語基+セ)+シ}	3	{(ゴ+セ)+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	いふばかりなし	言	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○				○	○	
55	いふよしなし	言由無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○						
56	いまいまし	忌忌	シク	第一次	語基の重複+シ	3	{(ゴ+ゴ)+セ}			○				○	○	○
57	いまだし	未	シク	第一次	副詞+シ	2	{タ+セ}			○				○	○	○
58	いまし	忌	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○				○	○	○
59	いませかし	今	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{(タ+セ)+セ}			○				○	○	○
60	いみじ	シク	第一次	動詞(連用形)+シ	2	{タ+セ}			○					○	○	○
61	いやし	賤・卑	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	いらへんかたなし		ク	第二次	名詞+無シ	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○				○	○	
63	いろこし	色濃	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+(ゴ+セ)}			○						
64	いろこし	色無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}			○				○	○	
65	いろふかし	色深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+(ゴ+セ)}			○				○	○	
66	いろめかし	色	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{(タ+セ)+セ}			○				○	○	
67	うし	憂	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	うしろめたし	後不安	ク	第二次	名詞+形容詞	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○				○	○	○
69	うしろめたなし	後不安	ク	第一次	形容詞(語幹)+ナシ	4	{(タ+タ)+(ゴ+セ)}			○				○	○	○
70	うすし	薄	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	うたがはし	疑	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	うたがひなし	疑無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}			○				○	○	
73	うたてし		ク	第一次	副詞+シ	2	{タ+セ}			○						
74	うちおきがたし	打置難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	{(セ+タ)+(ゴ+セ)}			○						
75	うちずてがたし	打捨難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	{(セ+タ)+(ゴ+セ)}			○						
76	うつくし	愛・美	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	うつつなし	現無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+(ゴ+セ)}			○				○	○	
78	うどうとし	疎疎	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	{(ゴ+ゴ)+セ}			○				○	○	
79	うとし	疎	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}			○				○	○	
80	うとまし	疎	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○

擬古物語および中世の日記・紀行文の形容詞の語構成

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	筆記	擬古	日記	狂言	キリ
81	うらうひし	初無	シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(+ゴ)+セ]			○				○			
82	うへなし	上無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]		○					○			
83	うらなし	心無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
84	うらめし	恨・悔	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
85	うらやまし	羨	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○					○			
86	うらわかし	若	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]	○						○			
87	うるさし		ク	第一次	(語基+サ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]			○				○			
88	うるはし	麗・美	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○					○			
89	うれし	嬉・歡	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
90	うれたし	慨	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
91	おきがたし	置難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
92	おきどころなし	置所無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]		○					○			
93	おくふかし	奥深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
94	おくゆかし		シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
95	おまへがたし	抑難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
96	おそし	遅・鈍	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
97	おそろし	恐	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○					○			
98	おとなおとなし	大人大人	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○				○			
99	おとなし	音無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
100	おどろおどろし		シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]	○						○			
101	おなじ	同	シク	第一次	語基+ジ	2	(ゴ+セ)	○						○			
102	おぼえなし	覺無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
103	おほし	多・大	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
104	おほし	思	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○					○			
105	おほつかなし	覺東無	ク	第一次	(語基+ツカ)+ナシ	3	[(ゴ+セ)+セ]	○						○			
106	おぼろけなし		ク	第一次	形容動詞(語幹)+ナシ	4	[(ゴ+セ)+セ]+セ]		○					○			
107	おもおもし	重重	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]			○				○			
108	おもし	重	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○				○			
109	おもろし	面白	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]	○						○			
110	おもだたし	面立	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	[(タ+ゴ)+セ]			○				○			
111	おもなし	面無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
112	おもひうらかなし		ク	第二次	名詞+無シ	5	[(タ+タ)+タ]+(ゴ+セ)]			○				○			
113	おもひぐまなし	思隠無	ク	第三次	動詞(連用形)+無シ	4	[タ+タ+(ゴ+セ)]		○					○			
114	おもひさましがたし	思覺難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]			○				○			
115	おもふばかりなし	思許	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]			○				○			
116	およびがたし	及難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
117	かうがうし	神神	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○				○			
118	かうばし	香	シク	第一次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]	○						○			
119	かかやかし	輝・耀	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)			○				○			
120	かきなしがたし	書流難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[(タ+タ)+タ+(ゴ+セ)]			○				○			
121	かぎりなし	限無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
122	かたげなし	隠無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]	○						○			
123	かこつかたなし	託方無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]			○				○			
124	かごとがまし	託言	シク	第一次	名詞+ガマシ	2	(タ+セ)			○				○			
125	かしがまし	麗	シク	第二次	語基+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]			○				○			
126	かしこし	恐・畏・賢	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
127	かすおほし	数多	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
128	かたし	固・堅	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
129	かたし	難	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
130	かたじけなし	辱・忝	ク	第一次	(語基+ケ)+ナシ	4	[(ゴ+セ)+セ]+セ]	○						○			
131	かたはらいなし	傍痛	ク	第二次	名詞+形容詞	4	[(タ+タ)+タ+(ゴ+セ)]			○				○			
132	かどかどし	才才	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○				○			
133	かなし	悲・哀・愛	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
134	かなひがたし	適難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
135	かはゆし		ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
136	かひがひし	甲斐甲斐	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○				○			
137	かひなし	甲斐無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
138	かほよし	端正・麗	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
139	かまびすし	喧・囂	ク	第二次	語基+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]			○				○			
140	からげにくし		ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
141	からし	辛・鹹・酸	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
142	かるがるし	軽軽	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]			○				○			
143	かるし	軽	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○				○			
144	かうしがたし	休難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
145	きさどころなし		ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]			○				○			
146	きさにくし	閑難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
147	ききわきがたし	閑分難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]			○				○			
148	きこえにくし	閑難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
149	きたなげなし	汚気無	ク	第二次	形容動詞(語幹)+無シ	4	[(ゴ+セ)+タ+(ゴ+セ)]			○				○			
150	きはまりなし	極無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
151	きびし	厳・密	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
152	きよし	清	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
153	きらきらし	端正	シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]			○				○			
154	くさし	臭	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
155	くせぐせし	癖癖	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○				○			
156	くちきがなし		ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
157	くちをし	口惜	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
158	くはし	妙・細・詳	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○						○			
159	くまくまなし	隈隈	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]	○						○			
160	くまなし	隅無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	筆記	撰古	日記	狂言	キリ
161	くもらはし	曇	シク	第一次	動詞被覆形+ハシ	2	{ゴ+セ}			○				○			
162	くもりなし	曇無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}		○	○				○	○	○	○
163	くやし	悔	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○		○		○	○	○	○
164	くらし	暗	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
165	くろし	黒	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
166	くろし	黒	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
167	けうとし	気疎	ク	第二次	ケ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}			○							
168	けがらはし	汗穢・穢	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○							
169	けし	異・怪	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○		○		○		○			
170	けだかし	気高	ク	第二次	ケ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}										
171	けちかし	気近	ク	第二次	ケ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}		○	○		○					
172	けどほし	気遠	ク	第二次	ケ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}			○							
173	げにげにし	実実	シク	第一次	副詞の重複+シ	3	{タ+タ+セ}									○	
174	げはし	陰	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}			○		○		○	○	○	○
175	げぶなし	煙基・烟基	ク	第二次	語基+形容詞	3	{ゴ+{ゴ+セ}}										
176	げやけし		ク	第一次	{語基+ケ}+シ	3	{ゴ+セ+セ}			○							
177	ごくらし	木暗	ク	第二次	コ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}										
178	ごころうし	心憂	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○		○		○		○	○
179	ごころうつくし	心愛	シク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○							
180	ごころえがたし	心得難	ク	第三次	名詞+形容詞	4	{タ+{タ+{ゴ+セ}}}					○		○			
181	ごころぎたなし	心汚	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○							
182	ごころぎよし	心清	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○							
183	ごころぐるし	心苦	シク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}	○				○		○			
184	ごころごぞし	心凄	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○		○		○			
185	ごころづきなし	心付無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{タ+タ+{ゴ+セ}}			○							
186	ごころづよし	心強	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}		○			○		○			
187	ごころとし	心疾	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○		○		○			
188	ごころながし	心長	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}										
189	ごころなし	心無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}	○	○	○		○		○			
190	ごころにくし	心憎	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}										
191	ごころはづかし	心恥	シク	第二次	名詞+形容詞	4	{タ+{ゴ+セ+セ}}			○		○		○			
192	ごころふかし	心深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○							
193	ごころほかし	心細	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}		○	○		○		○			
194	ごころもとなし	心許無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{タ+タ+{ゴ+セ}}		○			○		○			
195	ごころやすし	心安	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}		○			○		○			
196	ごころやまし	心疚	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○							
197	ごころよし	心恵	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}										
198	ごころわかし	心弱	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}		○	○		○		○			
199	ごころわろし	心悪	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}										
200	ごころをさなし	心稚	ク	第三次	名詞+形容詞	4	{タ+{タ+{ゴ+セ}}}		○	○		○		○			
201	ごし	濃	ク	第二次	語基+シ	2	{ゴ+セ}			○		○		○			
202	ごしがたし	期難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}				○						
203	ごだかし	木高	ク	第二次	名詞被覆形+形容詞	3	{ゴ+{ゴ+セ}}		○	○		○		○			
204	ごぢなし	言痛・事痛	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}	○		○		○		○			
205	ごぢなし	骨	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○							
206	ごどあし	事悪	シク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}										
207	ごどごとし	事事	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	{タ+タ+セ}		○	○		○		○			
208	ごどしげし	言繁・事繁	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}										
209	ごどなし	事無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}	○	○	○		○		○			
210	ごどなるごどなし		ク	第二次	名詞+無シ	4	{タ+タ+{ゴ+セ}}										
211	ごのまし	好	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○							
212	ごごはし	強強	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	{ゴ+ゴ+セ}										
213	ごはし	強	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○		○		○		○			
214	ごひし	恋	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○		○		○			
215	ごぶかし	木深	ク	第二次	名詞被覆形+形容詞	3	{ゴ+{ゴ+セ}}			○							
216	ごよなし		ク	第二次	名詞+無シ	4	{タ+タ+{ゴ+セ}}			○							
217	ごゆいなし	相逢無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}										
218	さうざうし		シク	第一次	語基の重複+シ	3	{ゴ+ゴ+セ}			○		○		○			
219	さうなし	左右無・双無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}										
220	さかし	賢	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○		○		○		○			
221	さかし	険・峻	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○		○		○		○			
222	さがなし	不祥・悪	ク	第一次	語基+ナシ	2	{ゴ+セ}	○		○		○		○			
223	さだめなし	定無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}		○								
224	さはりなし	確無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}										
225	さびし	寂・淋	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○							
226	さまあし	様悪	シク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}										
227	さむし	寒	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○		○		○		○			
228	さやけし	清・分明	ク	第一次	{語基+ケ}+シ	3	{ゴ+セ+セ}			○		○		○			
229	さりがたし	去難・避難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○		○		○			
230	さりげなし	然気無	ク	第二次	形容動詞(語幹)+無シ	5	{タ+タ+セ+{ゴ+セ}}			○							
231	さりどころなし	避処無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{タ+タ+{ゴ+セ}}										
232	さわがし	騒	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○							
233	しげし	繁・茂	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○		○		○			
234	しさいがまし	子細	シク	第一次	名詞+ガマシ	2	{タ+セ}										
235	しだし	親	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}										
236	しどげなし		ク	第一次	{語基+ケ}+ナシ	3	{ゴ+セ+セ}			○		○		○			
237	しなじなし	品品	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	{タ+タ+セ}										
238	しなじし	惚	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}										
239	しのびがたし	忍難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○							
240	しほどけし	潮	ク	第一次	動詞(連用形)+シ	2	{ゴ+セ}			○							

擬古物語および中世の日記・紀行文の形容詞の語構成

NO.	見出し語	漢字	活用	層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	筆記	擬古	日記	狂言	キリ
241	しみふかし	染深	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○			
242	しもつかへめかし	下仕	シク	第一次	動詞被覆形+シ	4	[[タ+タ]+セ]+セ]							○			
243	じゃうめかし	上衆	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	[[タ+セ]+セ]							○			
244	しらじらし	白白	シク	第一次	名詞被覆形の重複+シ	3	[[ゴ+ゴ]+セ]			○							
245	しりぞくかたなし		ク	第二次	名詞+無シ	4	[[タ+タ]+(ゴ+セ)]										
246	しるし	知・灼・著	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
247	しろし	白	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
248	すがすがし	清清	シク	第一次	形容詞(語幹)+形容詞	3	[[ゴ+ゴ]+セ]			○							
249	すぎうし	過憂	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○							
250	すぎがたし	過難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]					○	○				
251	すぎずきし	好好	シク	第一次	動詞(連用形)の重複+シ	3	[[タ+タ]+セ]			○				○			
252	すくなし	少	ク	第一次	語基+ナシ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
253	すこし	凄	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	○	○
254	すさまじ	凄	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	○	○
255	すずし	冷・涼	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
256	すすまし	進	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)										
257	すてがたし	捨難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
258	すべなし	術無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	○	○
259	すみうし	住憂	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
260	するかたなし	為方無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[[タ+タ]+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	○	○
261	せきとめがたし	塞止難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[[タ+タ]+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
262	せはし	狹	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
263	せんなし	詮無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]					○	○	○	○	○	○
264	そうしがたし	奏難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○							
265	そことなし		ク	第二次	副詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
266	そこほかとなし		ク	第二次	副詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○							
267	そぞろはし	漫	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)			○							
268	そらおそろし	空恐	シク	第二次	ソラ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]										
269	そらはづかし	空恥	シク	第二次	ソラ+形容詞	4	[セ+((ゴ+セ)+セ)]			○							
270	それとなし		ク	第二次	副詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
271	たいたいし	怠怠	シク	第一次	語基の重複+シ	3	[[タ+ゴ]+セ]			○							
272	たかし	高	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
273	たぐひなし	類無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
274	たけし	武・猛	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
275	ただし	正	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)										
276	たうちし	立憂	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
277	たちはなれがたし	立難難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[[セ+タ]+(ゴ+セ)]										
278	たつきなし	方便無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○							
279	たづねいでかたし	尋出難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[[タ+タ]+(ゴ+セ)]										
280	たしへなし	聲無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
281	たどたどし		シク	第一次	語基の重複+シ	3	[[ゴ+ゴ]+セ]			○							
282	たのし	楽	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
283	たのみなし	頼無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
284	たのもし	頼	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
285	たのもしげなし	頼気無	ク	第二次	形容動詞(語幹)+無シ	4	[[ゴ+セ]+(ゴ+セ)]										
286	たふとし	堪・難	ク	第二次	タ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]										
287	たへがたし	堪難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
288	ためしなし	例無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
289	たやすし	輕・容易	ク	第二次	タ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	○	○
290	たゆみなし	弛無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
291	たよりなし	便無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
292	ちかし	近	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
293	ちからなし	力無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
294	ちぎりなし	契無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
295	ちひさし	小	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)										
296	ちんじがたし	陳難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]										
297	つきがたし	尽難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○							
298	つきづきし	付付	シク	第一次	動詞(連用形)の重複+シ	3	[[タ+タ]+セ]			○							
299	つきなし	付無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
300	つたなし	怯・拙	ク	第一次	語基+ナシ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
301	つつまし	慎	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	○	○
302	つなぎがたし	鞆難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]										
303	つみえがまし	罪得	シク	第一次	動詞(連用形)+ガマシ	3	[[タ+タ]+セ]										
304	つゆけし	露	ク	第一次	名詞+ケシ	2	(タ+セ)										
305	つよし	強	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
306	つらし	辛	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
307	つれなし	無情	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
308	とげがたし	解難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
309	とごろせし	所狹	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
310	とごろなし	所無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
311	とし	利・敏・疾	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)										
312	とほし	遠	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
313	とめがたし	止難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○							
314	ないげなし	内外無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]										
315	ながし	長	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
316	なかなかし		シク	第一次	形容動詞(語幹)+シ	2	(ゴ+セ)										
317	なげかし	嘆・歎	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	○	○
318	なごりなし	名残無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○
319	なごりをし	名残惜	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]										
320	なまけなし	情無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○	○

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	筆記	撰古	日記	狂言	キリ
321	なし	無	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
322	なだかし	名高	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
323	なだたし	名立	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{[タ+ゴ]+セ}			○					○	○	○
324	なつかし	懐	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
325	なにごころなし	何心無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{[タ+タ]+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
326	なにごとなし	何無	ク	第二次	副詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
327	なほし	直	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}			○	○	○	○	○	○	○	○
328	なほなほし	直直	シク	第一次	語基の重複+シ	3	{[[ゴ+ゴ]+セ]}			○					○	○	○
329	なまごころきたなし	生心汚	ク	第三次	ナマ+形容詞	4	{セ+{タ+{ゴ+セ}}}								○	○	○
330	なまさかし	生賢	シク	第二次	ナマ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}								○	○	○
331	なまし	生	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
332	なまにくし	生憎	ク	第二次	ナマ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}								○	○	○
333	なまめかし	生	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{[ゴ+セ]+セ}			○					○	○	○
334	なやまし	愴	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○					○	○	○
335	ならびなし	並無・双無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○	○	○	○	○	○	○	○
336	ならぶかたなし	習方無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{[タ+タ]+{ゴ+セ}}								○	○	○
337	なるごとなし	成事無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{[タ+タ]+{ゴ+セ}}								○	○	○
338	にがになし	苦苦	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	{[[ゴ+ゴ]+セ]}								○	○	○
339	にぎははし	賑	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○					○	○	○
340	にこし	憎	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
341	にげなし	似無	ク	第二次	(動詞(連用形)+ケ)+無シ	4	{[タ+セ]+{ゴ+セ}}								○	○	○
342	にほはし	匂	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○					○	○	○
343	ぬるし	温	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
344	ねがはし	願	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○					○	○	○
345	ねたし	嫌・妬	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
346	ねぢけがまし	拗	シク	第一次	動詞(連用形)+ガマシ	2	{タ+セ}			○					○	○	○
347	ねにくし	寝難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
348	ねぶたし	眠・睡	ク	第二次	語基+形容詞	3	{ゴ+{ゴ+セ}}			○	○	○	○	○	○	○	○
349	ねんなし	念無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
350	のれがたし	酒難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
351	のこりなし	残無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
352	のどけし	長閑	ク	第一次	(語基+ケ)+シ	3	{[[ゴ+セ]+セ]}			○					○	○	○
353	はうなし	方無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
354	はえなし	映無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
355	はえはえし	映映	シク	第一次	動詞(連用形)の重複+シ	3	{[[タ+タ]+セ]}								○	○	○
356	はかなし	果無・果敢無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
357	はかばかし	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	{[[タ+タ]+セ]}				○	○	○	○	○	○	○	○
358	はげし	激・烈	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
359	はしたなし	端	ク	第一次	形容動詞(語幹)+ナシ	2	{ゴ+セ}			○					○	○	○
360	はださむし	肌寒	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
361	はつかし	恥	シク	第一次	(動詞被覆形+カ)+シ	3	{[[ゴ+セ]+セ]}			○					○	○	○
362	はてしなし	果無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{[[ゴ+セ]+{ゴ+セ}]}								○	○	○
363	はなれがたし	離難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
364	はばからはし	懐	シク	第一次	動詞被覆形+ハシ	2	{ゴ+セ}			○					○	○	○
365	はばかりなし	懐	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
366	はやし	早・速	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
367	はるけし	遙	ク	第一次	(語基+ケ)+シ	3	{[[ゴ+セ]+セ]}			○					○	○	○
368	はれがたし	晴難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
369	はれがまし	晴	シク	第一次	動詞(連用形)+ガマシ	2	{タ+セ}			○					○	○	○
370	はればれし	晴晴	シク	第一次	動詞(連用形)の重複+シ	3	{[[タ+タ]+セ]}								○	○	○
371	ひがひがし	僻僻	シク	第一次	語基の重複+シ	3	{[[ゴ+ゴ]+セ]}			○					○	○	○
372	ひすぐてがたし	捨難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}								○	○	○
373	ひさし	久	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
374	ひすまし	桶洗	シク	第一次	形容詞(語幹)+マシ	2	{ゴ+セ}			○					○	○	○
375	ひとし	等・齊	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
376	ひとわろし	人悪	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
377	びびし	美美	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	{[[タ+タ]+セ]}								○	○	○
378	ひまなし	隙無・暇無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
379	ひろし	広	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
380	ひんあし	便悪	シク	第二次	名詞+形容詞	3	{ひ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
381	ひんなし	便無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
382	びんよし	便良	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{ひ+{ゴ+セ}}								○	○	○
383	ふかし	深	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
384	ふみわけがたし	踏分離	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}			○					○	○	○
385	ふるし	古・旧	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
386	ふるまひにくし	振舞難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{[[タ+ゴ]+セ]}			○					○	○	○
387	ふるめかし	古	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{[[ゴ+セ]+セ]}			○					○	○	○
388	へだてなし	隔無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
389	はいなし	本意無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
390	ほし	欲	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
391	ほそし	細	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
392	ほどちかし	程近	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
393	ほどほし	程遠	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
394	ほどなし	程無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○	○	○
395	まがまがし	稱稱	シク	第一次	語基の重複+シ	3	{[[ゴ+ゴ]+セ]}								○	○	○
396	まぎらはし	紛	シク	第一次	動詞被覆形+ハシ	2	{ゴ+セ}			○					○	○	○
397	まきれなし	紛無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	○
398	まことし	実	シク	第一次	名詞+シ	2	{タ+セ}			○					○	○	○
399	まことまことし	実実	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	{[[タ+タ]+セ]}								○	○	○
400	まさし	正	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

擬古物語および中世の日記・紀行文の形容詞の語構成

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	擬古	日記	狂言	キリ
401	まだし	未	シク	第一次	副詞+シ	2	{タ+セ}		○	○	○			○	○		
402	またなし		ク	第二次	副詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○		○	○	○			
403	まづし	貧・貧窮	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○		○	○			○		
404	まほゆし	目映・眩	ク	第二次	名詞被覆形+形容詞	3	{ゴ+{ゴ+セ}}			○					○		
405	まめめし	実実	シク	第一次	語基の重複+シ	3	{[[ゴ+ゴ]+セ]}			○							
406	まよふかたなし	迷方無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}								○	○	
407	みがたし	見難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○	○	○			○	○	
408	みぐるし	見苦	シク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○	○	○			○	○	
409	みじかし	短	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
410	みすごしがたし	見過難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}								○	○	
411	みすてがたし	見捨難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}			○		○			○	○	
412	みだりがはし	乱	シク	第一次	動詞(連用形)+ガハシ	2	{タ+セ}			○	○	○			○		
413	みにくし	醜	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}		○		○	○	○		○		
414	むくつけし	ク	第一次	(語基+ツケ)+シ	3	{[[ゴ+セ]+セ]}				○					○		
415	むつかし	難	シク	第一次	(語基+カ)+シ	3	{[[ゴ+セ]+セ]}				○				○		
416	むつまじ	親・睦	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
417	むなし	空虚	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
418	めぐらしがたし	廻難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○	○	
419	めざまし	目覚	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{[[タ+ゴ]+セ]}					○	○		○		
420	めだたし	目立	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{[[タ+セ]+セ]}					○	○		○		
421	めづらし	珍	シク	第一次	(動詞被覆形+ラ)+シ	3	{[[ゴ+セ]+セ]}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
422	めでたし	愛	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
423	めのとめかし	乳母	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	{[[タ+セ]+セ]}								○		
424	めはずかし	目恥	シク	第二次	名詞+形容詞	4	{タ+[[ゴ+セ]+セ]}								○	○	○
425	めやすし	目安	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}					○	○		○		
426	もどかし	擬・抵愾	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○	○				○		
427	ものうし	物憂	ク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}		○	○		○	○		○		○
428	ものおもはし	物思	シク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}					○	○		○		○
429	ものごなし	物悲	シク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}		○		○				○		○
430	ものきよし	物清	ク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}					○	○		○		○
431	ものぐるほし	物狂	シク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}			○					○		○
432	ものさびし	物寂	シク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}								○		○
433	ものさわがし	物騒	シク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}			○		○	○	○	○	○	○
434	ものし	物	シク	第一次	名詞+シ	2	{タ+セ}			○					○		○
435	ものすさまじ	物凄	シク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}			○					○		○
436	ものどほし	物遠	ク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}			○					○		○
437	ものほかなし	物果無	ク	第三次	モノ+形容詞	4	{セ+[[タ+{ゴ+セ}]]}								○		○
438	ものわびし	物侘	シク	第二次	モノ+形容詞	3	{セ+{ゴ+セ}}			○					○		○
439	ものろし	脆	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
440	やくなし	益無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○		○	○		○		○
441	やさし	恥・優	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
442	やすし	安・易	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
443	やむごとなし	止事無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}			○					○		○
444	やるかたなし	遣方無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}								○		○
445	ゆかし		シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○	○	○	○	○	○	○	○
446	ゆかへなし	行方無	ク	第二次	名詞+無シ	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}								○		○
447	ゆくりなし	率爾	ク	第一次	語基+ナシ	2	{ゴ+セ}			○		○	○		○		○
448	ゆゆし	齷忌・忌	シク	第一次	語基の重複+シ	3	{[[ゴ+ゴ]+セ]}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
449	ゆるぎなし	揺無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}								○		○
450	ゆるしがたし	許難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○		○
451	ゆるなし	故無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○		○	○		○		○
452	ゆるまゆまし	故故	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	{[[タ+タ]+セ]}								○		○
453	よがれなし	夜離無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}								○		○
454	よし	良・好・善	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
455	よしなし	由無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}			○	○	○	○	○	○	○	○
456	よそぼし	装	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○					○		○
457	よほよほし	弱弱	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	{[[ゴ+ゴ]+セ]}								○		○
458	よぶがし	夜深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
459	よるかたなし		ク	第二次	名詞+無シ	4	{[[タ+タ]+{ゴ+セ}]}								○		○
460	よるし	宜	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}		○		○	○	○	○	○	○	○
461	よわし	弱	ク	第二次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
462	らうがはし	乱	シク	第一次	名詞+ガハシ	2	{タ+セ}			○					○		○
463	らうたし	労甚	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○		○
464	らうらうじ	労勞	シク	第一次	名詞の重複+ジ	3	{[[タ+タ]+セ]}								○		○
465	わかし	若	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
466	わかわかし	若若	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	{[[ゴ+ゴ]+セ]}								○		○
467	わかまがたし	分離	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○					○		○
468	わけがたし	分離	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○		○
469	わずれがたし	忘難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○		○	○	○	○	○	○
470	わたりがたし	渡難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}			○	○	○	○	○	○	○	○
471	わづらはし	煩	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
472	わびし	侘	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
473	わりなし	理無	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
474	わろし	悪	ク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}			○	○	○	○	○	○	○	○
475	わかし	可笑・可笑	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	{ゴ+セ}			○	○	○	○	○	○	○	○
476	をこがまし	痴	シク	第一次	名詞+ガマシ	2	{タ+セ}			○					○		○
477	をさなし	幼	ク	第二次	名詞+無シ	3	{タ+{ゴ+セ}}								○		○
478	まし	惜・愛	シク	第一次	語基+シ	2	{ゴ+セ}		○	○	○	○	○	○	○	○	○
479	をやみなし	小止無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	4	{[[セ+タ]+{ゴ+セ}]}								○		○
480	をりやすし	折易	ク	第二次	名詞+形容詞	3	{タ+{ゴ+セ}}								○		○